

2008春闘スタート



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

本部中央委員会で意見反映

生活実態に根ざした要求

1月23日に、中央で労使トップ会談が行われ、いよいよ2008春闘がスタートした。道本部の春闘討論集会后、青年部、各地本の春闘討論集會、自治労本部の第135回中央委員が開かれた。道本部は2月4日、第107回中央委員会で最終的な春闘方針を確認し、闘争体制の強化を図る。

連合方針は1%以上の成果配分めざす。労働側は、1998年以降9年連続で実質賃金のマイナスとなっており、06年の労働分配率も5年連続マイナスで景気回復から完全に置き去りにされている。

さらに派遣、非正規労働者の増加など格差拡大

で貧困、不平等が広がる社会的問題になっている。連合は、労働者側に1%以上の成果配分をめぐり、非正規を含めた成果配分と最低賃金の大幅な引き上げを重点に08春闘を提起している。

方針議論と健全化法

など学習



職場の実態を交流した、青年部春闘討論集會分會=1月19日、定山溪ビューホテル

新テロ特措法による補給部隊の護衛艦「むらさめ」と、補給艦「おうみ」が約2カ月ぶりにインド洋に向かった。あいさつで、「世界に対する責任果たすため」と石破さん。国民に対しての責任果たしてほしい。

朝風

今年は雪が少なく除雪も、歩くのも楽だと喜びもつかの間、ドカ雪が来た。いつも帳尻合うようになっていると言え「温暖化」は深刻だ。「エコライフ」実践している派、してない派。全くしていない方もそろそろ始めませんか？

私の視点

春闘は要求書提出から

自治労本部書記長 金田 文夫

1月、連合と経団連のトップ会談で今春闘がスタートした。外需依存型景気が株価下落と景気不安に繋がり、経営

側はガードを固めている。これを逆手に内需個人消費に下支えされた安定経済に転換する時である。それには賃金引き上げが最も効果的である。普通労働者が実感できないここ数年の「景気回復基調」では意味が無い。労働側が「ピンチ」に見える今春闘こそチャンスと捉え連合挙げ

て闘い取る運動を展開したいものである。更に大きな課題は、格差是正と全体の底上げである。法制度改正に伴う課題もあるが、単組の労使交渉で前進できる課題も多くある。臨時・非常非勤等職員や指定管理者2巡目への雇用確保と待遇改善、等が求められる。そして民間中小の闘い、地域民間賃金の底上げは

急務であり、自治体労働者の賃金水準にも大きく影響する。自治労公共民間・全国一般は、その役割を担うことになる。特に全国一般は、牽引役である。自治労は、中小の闘いを全ての地域で、産別全体の運動として支えていかなければならない。

春闘の再構築が叫ばれるが、特効薬はどこにも無い。70年代、80年代の春闘とは違う。だが、変わらぬ事が有る。それは、「春闘は要求書提出から」と言う事である。全単組の取り組みが求められる。



現状、「政治学習会」なども行われた。本部中央委員会で意見反映。自治労本部は1月31日、2月1日の両日に第135回中央委員を開き、春闘方針を議論。道本部は、①組合員の生活実態に根ざした平均11,005円(昨年11,598円)の賃金要求・勧告無視の独自削減・原油価格高騰に伴う

対応。②安心と信頼の社会保障制度の推進。③財政再建計画実施後の夕張市の今後の課題・自治体財政健全化法に対する取り組みなどについて意見反映する。

今後は、2月4日の道本部中央委員会で当面する闘争方針案、春闘方針案、などについて提起し、最終的な方針を確認する。

対し、2月4日の道本部中央委員会で当面する闘争方針案、春闘方針案、などについて提起し、最終的な方針を確認する。

働きつづけられる職場づくり

青年部春闘討論集會

学んだこと

仲間に伝えよう

1月19、20日の両日、定山溪ビューホテルで青年部春闘討論集會を開き103単組・総支部312人(女性42人)が参加した。

基調講演では、組織拡大推進室・松岡事務局長から「働き続けられる職場を作ることは社会を維持することにつながる。そのためにも私たちが労働組合に結集することが大事。困っている人々と

連帯して労働運動をすることが必要だ」と話した。全体討論では、羅臼町職から「人勧の尊重を唱えてきた当局が、都合が悪ければ先送りというやり方に矛盾と強い憤りを感じる」という声があり交渉に向け「生活・職場実態点検手帳」付けを行ない人勧内容の早期実施に向けた取り組みにつなげた報告があった。

渡邊青年部長は「将来の見えない生活実態、過酷な職場実態を交流し、そんな中でも青年が主体的に生活や職場状況を向上・改善させるたにかいについて学びあった。仲間に伝え、たまたかにつなげて行こう」と集約し、団結カンパロで集會を終えた。



交渉に向けてみんなで取り組んだ「生活・職場実態点検手帳」道本部幹事の久末さん(上ノ国町職)

2008年度道本部自治体財政セミナー

2月12日(火) 13:00~

会場=ホテル札幌ガーデンパレス 札幌市中央区北1条西6丁目

- 地方財政計画
- 自治体財政健全化法 などを学習する

JICHIRO スケジュール

2008年2月

- 2日(土) 第27回女性交流集會(札幌市)
- 3日(日) 2008女性政治集會(札幌市)
- 4日(月) 道本部第107回中央委員(札幌市)
- 12日(火) 道本部「自治体財政セミナー」(札幌市) 道本部第10回執行委員(札幌市)
- 13日(水) 道本部第2回組織強化委員(札幌市)
- 18日(月) 自治労共済道支部事務担当者會議(札幌市)

お知らせ

2008地本イチオシおいしいものプレゼントの当選発表は次号で掲載します。

総選挙で国民の意志問うべき

政治フォーラムが総会



会員数が98人になった道本部政治フォーラム

道本部政治フォーラムは、1月11日に札幌市内で総会を開催し30人の会員が出席した。

また、同日開かれた道本部学校リーダーコースを研修会と位置付け、「国連の安全保障と日本の国際貢献」というテーマの講演会(講師:最上国際)



基晋大学教授)で学習を深めた。

総会では三津会長(道議)写真(右下)が、「ねじれ国会といわれているが、国民の民意が反映されていないのは衆議院であり、早期解散で国民の意思を問うべきだ。また、自治体をとりまく財政や地域医療の課題の解決には政権を変えなければならぬ」と述べた。

三浦道本部委員長は、「昨年の統一自治体選・参議院選挙での成果を、ぜひ衆議院選挙に継続して勝利をめざそう」と訴えた。議案はすべて承認された。

組合員の絆大切に



職場だより

【社保労北海道支部】昨年12月15日、北海道自治労会館において第2回定期大会を開催した。

大会討論では、日夜職場から奮闘している組合員の状況や、厳しいなかでも労働組合として情勢の共有化をはかる取り組みを進めていることなどが報告された。さらに、

仲間どうしが声を掛け合い、互いに支えあい、励ましあい、組合員の絆を大切にしながら、この難局を乗り越えていくことを確認した。

職場は、ただでさえ定員が不足している状況のなか、メンタルヘルス不全により長期病休取得を余儀なくされる人や、若

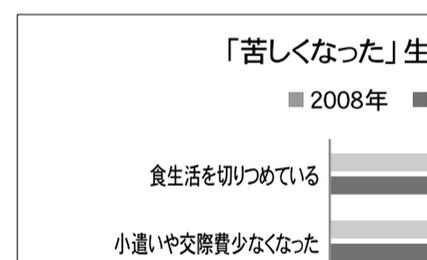
くして退職を選択する人が急増しており、残された組合員は土日出勤や慢性的な超過勤務など、極めて厳しい労働条件のもとで、隣に座っている人と会話をしている時間すらない状況になっている。

そんな中、労働組合には、健康管理の取り組みを重点的に進めることは

もとの、組合員どうしの交流の場を設定することなどが強く求められている。

道本部と
いっしょです

道本部の書記局には、社保労北海道支部があり、書記の村元弘子さん(写真左)、古郡里映さん(写真右)が道本部役員と一緒働いています。明るく元気な2人



引続き、自治労に固く結集し、雇用と健康を守る取り組みを強めていく。

(社保労組・岩勝美)

仲野ひろ子新年交礼会



毎年恒例の仲野ひろ子新年交礼会には1500人が集った

仲野ひろ子連合後援会主催の新年交礼会が、1月17日に釧路国際交流センターで開かれた。

ゲストの白眞敷参議院議員は、現在の政局について語り、「笑顔以外見ることがない」と語る仲野代議士への支援を、ユーモア



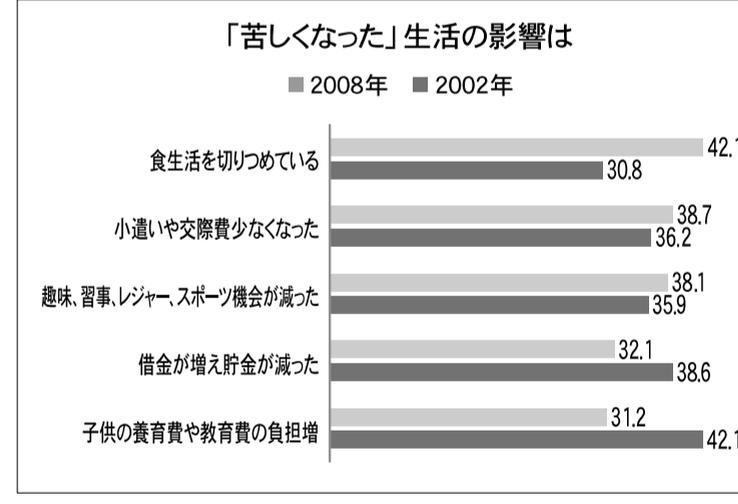
仲野ひろ子新年交礼会 釧根の声に届ける

たつぷりに話し会話が沸いた。

その後壇上に立った仲野代議は、「国民の生活が第一」である民主党の政策を実現するために、次期総選挙で政権交代するしかない、皆様の支持を頂きたい」と強く訴えた。さらに、釧根の皆様の声を届けたいと重ねて訴えた。

棚野白糠町長の乾杯の後、テーブルごと仲野代議との写真撮影を行い、参加者は楽しいひと時を過ごした。

生活が「苦しくなった」と答えた人に、どのような面で生活への影響が出ているかを聞いた。回答のうち上位5つだけを2002年調査と比較してみたのが別図である。変化している点は、「食生活を切り詰めている」人が30.8%から42.1%に増大している。まずは「切り詰めやすい」が生活する上で最も根源的な食生活が脅かされている(レベルダウン)。次いで影響が大きいのは「小遣いや交際費が



総合研究室発

2008「春闘アンケート」から ③ 生活悪化の影響は...

「養育費・教育費」である。とくに「養育費・教育費」は10%以上も減っているが、長く続いた生活悪化の影響で「もう削れない」という声が聞かされてくる。その上で別の設問で「生活で改善・充実させたいものは」と聞いたところ、まずは「健康と休養(41.2%)、次いで「趣味・レジャー・スポーツ(41.0%)」が高い。

忙中余話

政府の「規制改革会議」をご存知だろうか? 以前の「規制改革・民間開放推進会議」を衣替えたものだ。経済界や学者? と称する方々が、政府の政策の骨格を勝手に決定するところとなっている。ここでは、不思議な理論が跋扈している。非正規労働者の労働条件が悪いのは、正規労働者が保護されすぎているから「女性の就業率が悪いのは、女性保護が悪いから」という「悪い冗談」を採用していくなどである。そういえば、経

団連会長でキャンソンの御手洗氏は、自社の偽装請負の原因について「現在の派遣法の規制が偽装請負を生じさせている」と訳のわからないことを言っていた(これで、PCのプリンターをキャンソンの話をするのをやめた)。この話を聞いた瞬間、悪い冗談」と思っていたが、彼らは本気のようなのである。

自治労は、これは冗談と捉えてはいけないと警告が凶器となるのだから、皆さんも、一度、規制改革会議の「悪い冗談」を読んでみてはいかがですか。(平川 則男)

きんちゃんの国会だより

金田誠一 (41)

労働者の権利を守る 闘いがスタート!

国会は与野党激突中ですが、労働り、このままで許されません。折り業界では08年春闘がスタートし組合員も私の地元函館では、函館市職労と経営側の激突が始まりました。株の担当者が新しくできた民間労組の安や田高など経済の見通しが悪いと 結成準備や就業規則・賃金規則の課題解決に向け団体交渉に参加するなど、これまで労働組合の専ら門家として培ってきた知識も生かされました。全ての労働者が経営者側は賃上げや労働条件の改善 団結し、現場に目を向け組合員の声を反発してはいますが、長時間労働、を聞く、労働者の権利を一つずつ獲得していくという原点に戻って組合サービスクラス、ワーキングプア、過労死など労働現場は悲鳴を上げてお 運動を前進させましょう!